

宮城県感染症発生動向調査情報(第35週)

宮城県【平成26年09月04日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

— 2014.8.25 ~ 8.31 ・ 第35週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							宮 城 県 (含む仙台市)						
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第32週	第33週	第34週	第35週
水痘		1 0.10	1 0.20			3 0.60		18 0.69	23 0.40	1,389	→	→	○→	レ
流行性耳下腺炎			3 0.60		1 0.33			8 0.31	12 0.21	456	→	→	→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	15 3.00	17 1.70	6 1.20	7 3.50	10 3.33	4 0.80	2 1.00	79 3.04	140 2.41	14,302	◎→	◎→	◎→	◎
手足口病		3 0.30	4 0.80		2 0.67	2 0.40		10 0.38	21 0.36	219	→	→	→	
伝染性紅斑		1 0.10	4 0.80	1 0.50	10 3.33	15 3.00		8 0.31	39 0.67	1,827	◎→	○→	○→	○
突発性発しん	3 0.60	4 0.40	6 1.20		3 1.00	9 1.80	1 0.50	29 1.12	55 0.95	1,352	○→	レ→	○→	◎
ヘルパンギーナ	13 2.60	61 6.10	38 7.60	21 10.50	13 4.33	42 8.40	7 3.50	138 5.31	333 5.74	1,343	◎→	◎→	◎→	◎
インフルエンザ											→	→	→	
咽頭結膜熱			1 0.20			3 0.60		9 0.35	13 0.22	508	→	→	→	
流行性角結膜炎		3 1.00	1 1.00			2 2.00		8 1.33	14 1.17	112	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7 1.40	9 0.90	1 0.20	2 1.00	3 1.00	12 2.40	1 0.50	21 0.81	56 0.97	4,189	◎→	○→	○→	○
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎					1 1.00		2 2.00	1 0.20	4 0.33	299	→	→	→	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症	2 0.40				2 0.67			4 0.15	8 0.14	397	→	→	→	
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		3	2	2			3	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向					
	川崎病							2	1	4	【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/			
	不明発疹症							6						
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)※									52				

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第33週) (国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.64)、香川県(0.12)、岐阜県(0.06)、滋賀県(0.06)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は5例と前週と比較して増加し、5道県から報告があった。**RSウイルス感染症**: 報告数は593例と3週連続で増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約84%を占めている。**咽頭結膜熱**: 定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は群馬県(1.05)、京都府(0.82)、奈良県(0.79)である。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**: 定点当たり報告数は第23週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は佐賀県(1.09)、福井県(1.05)、島根県(1.04)である。**感染性胃腸炎**: 定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は大分県(5.86)、宮崎県(5.86)、島根県(5.35)、香川県(5.10)である。**水痘**: 定点当たり報告数は第24週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は福井県(1.64)、宮崎県(1.28)、大分県(1.06)である。**手足口病**: 定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は佐賀県(3.57)、石川県(3.41)、大分県(2.61)である。**百日咳**: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.15)、千葉県(0.06)、北海道(0.05)、福岡県(0.05)である。**ヘルパンギーナ**: 定点当たり報告数は2週連続して減少した。都道府県別の上位3位は新潟県(7.34)、長野県(6.23)、山形県(5.44)である。**マイコプラズマ肺炎**: 定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は青森県(1.00)、石川県(1.00)、宮城県(0.83)、富山県(0.80)である。**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)**: 定点当たり報告数は第21週以降減少が続いている。沖縄県から1例報告があり、年齢別では0歳であった。

* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。()内数字: 定点当たり報告数

今週の全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核
 - 仙南管内 女性1名(第34週)
 - 塩釜管内 男性1名
 - 栗原管内 女性1名(第34週)
 - 登米管内 女性1名(第34週)
 - 仙台管内 男性2名、女性2名
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O26)
 - 登米管内 女児1名*
 - 腸管出血性大腸菌感染症(O103)
 - 塩釜管内 男児1名*
 - 気仙沼管内 男性1名
 - 腸管出血性大腸菌感染症(O121)
 - 仙台管内 女性1名
 - 腸管出血性大腸菌感染症(O型不明)
 - 登米管内 女性1名
- 4類感染症: 報告なし
- 5類感染症: クロイツフェルト・ヤコブ病
 - 仙台管内 女性2名
 - 侵襲性肺炎球菌感染症
 - 仙南管内 男性1名

*男児、女児は6歳未満

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

【伝染性紅斑】

登米、石巻管内で警報継続中。

【ヘルパンギーナ】

塩釜、大崎管内で警報値を超えた。
栗原、登米、石巻管内で警報継続中。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

感染性胃腸炎患者より

塩釜管内	第30週採取分	ヒトパレコウイルス(型不明)	1件
	第31週採取分	ヒトパレコウイルス(3型)	1件
		サボウイルス	1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第33週採取分 (8.11～8.17)	第34週採取分 (8.18～8.24)	第35週採取分 (8.25～8.31)
バインフルエンザウイルス1型	0件	1件	0件
バインフルエンザウイルス3型	2件	0件	0件
バインフルエンザウイルス4型	1件	0件	0件
ヒトメタニューモウイルス	2件	0件	0件
RSウイルス	2件	2件	2件
アデノウイルス	1件	0件	1件
エンテロウイルス	0件	0件	1件